

静岡松涛タイムス 第46号

迎春

発行元：静岡県本部広報部 責任者：滝田宏平

連絡先：0547-36-1238(TEL) 0547-36-1293(FAX)

E-mail：kouheichan@tiara.ocn.ne.jp

URL：http://www.shizuoka-karate.com/ (公式HP)

http://www4.tokai.or.jp/sougou/ (広報部)



平成23年 年頭所感



新年明けましておめでとうございます。穏やかな新年をご家族と過ごされ希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。昨年は政権が交代し我々国民の声が届く政治になるか期待していましたが、まだまだ若者達が夢を持って生きていける国には程遠い気がいたします。各支部の技術に差がない様に講習会を多数取り入れて来ました、その結果段審査においては合格率が上がったと思います、今年は各支部指導者の技術の向上、型指導において基本的な意味の違いがないように今年は指導者の講習会を重ねて技術の向上に役立てたいと考えております。また、車椅子の型の講習会も開催し、より多数の人に参加してもらい広めて行き NPO 法人の価値ある団体に成長していければと思います。本年も昨年と同様、会員の拡大(車椅子空手を含む)、技術の向上、礼節、人を思いやる心を目標に掲げ、皆様と共に頑張っていく所存であります。皆様のご健勝とご多忙を祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。本年一年よろしく御願ひ申し上げます。

日本空手松涛連盟静岡県本部長 稲毛隆

第11回 JKS 静岡県中部地区空手道大会



山々は鮮やかに朱を演出し、まさに秋真っ只中となつてまいりました。紅葉の時期としましては暖かい日差しの降り注ぐ11月21日(日)に、静岡市北部体育館におきまして「第11回静岡県中部地区空手道大会」が盛大に開催されました。幼年から一般まで、多くの選手の熱気で午前の型から午後の組手まで、すべてのコートで盛り上がりを見せていました。勝負ですので当然第一に勝ち負けがくるのですが、特に子供たちは勝負以外にも大会に出ていろいろな経験、感じたことがあったのではないのでしょうか。午前の型の試合で思うような結果が出ず、悔しくて涙を流して、午後の組手でその悔しさをバネに結果をだす子。今までの大会なかなか勝てなくて、でも初めて勝って喜びをかみしめる子。初めての大会参加で初めて味わう緊張感。この日集まった子供たちが大なり小なり何かしらの経験をして、その中から感じたこと、思うことが発見出来たのではないのでしょうか。「参加することに意義がある」とよく言われますがこういった部分はその言葉の中に含まれているのかな?と、ふと感じました。実りの秋、これからの稽古に子供達にはたくさんの収穫があったのではないのでしょうか。(レポート：藤枝精誠館 下出真弘)

第35回清水スポーツ少年団空手道大会



平成22年12月5日(日)に清水長崎新田スポーツ交流センターにて第35回清水スポーツ少年団空手道大会が開催されました。この大会は、毎年、烈士会の歴史を刻み続ける年内最後のイベントで、1年間烈士館で頑張った成果を発表する大切な大会です。小学校低中高学年それぞれの最優

秀選手に贈られるトロフィーに結び付けられた優勝旗には、往年の錚々たる選手の名前がセピア色になって刻まれており、この大会の歴史を垣間見ることが出来ます。大会当日は、寒風が肌を突き刺す厳しい寒さでしたが、会場の中は子供達の熱気で暖房が不要なほど熱かったです。実は会場に入る前「今年は、選手層の厚かった中学3年生グループが受験の為に休部しているので、少し寂しい大会になるかな?」と思っていましたが、残った選手はもちろん、幼年の新しい顔ぶれがたくさん増えていて、私の心配は新たな期待へと変わりました。しかし、驚いたのは、単なる選手の数や熱気だけではありません。試合が始まる前は、ワイワイガヤガヤと騒がしい幼年の子供達が、試合になった瞬間、大人顔負けの本気顔になって、白帯とは思えない気迫で迫力のある型や組手をしているではありませんか！圧巻は団体型試合で、数ある先輩チームを退け、幼年チームが堂々の準優勝になった事です。こんな幼い子どもの心の中にも、我が師匠である稲毛先生の「烈士の精神」がしっかりと根付いて初芽を出しているのだなあと感心すると共に、私自身もこの烈士会で同じく「烈士の精神」を教えて頂いている事への感謝も改めて感じました。私事ですが、現在仕事で岐阜に単身赴任している関係で、なかなか烈士館道場に足を運べない状況ですが、だからこそ私の大切にしている言葉「継続は力成り」の有り難さを痛感しております。この幼い子ども達も、これから先幾度となく困難にぶち当たることでしょう。しかし、稲毛先生始め諸先生方のご指導の中、継続して道場で全力の汗をかく事で、折れることない「烈士の精神」を持って困難を乗り越えられるであろう事を、私は確信しております。大会後は、道場にて恒例のクリスマスパーティが開かれました。先ほどの凛々しい姿はどこへやら、道場の中を走り回り、食べ物は散らかす姿に、先生方も一気に疲れが出たことだと思えます。これも1年頑張ったご褒美として、優しく見守っていきたいなと思えました。一年間、お疲れ様！そして、また1年間、積み上げていきましょう！押忍。(レポート：清水支部烈士館 小林敦史)

静岡県本部主催技術講習会・昇段審査会



各地から雪の便りが届き始め、本格的な冬の到来を感じさせる12月12日(日)に県本部主催昇段審査会・技術講習会が静岡市郊外の静岡北部体育館にて開催されました。午前には技術に合わせて受講できる講習会が行なわれ、メインである有段者講習では、荒井徹県指導部長(御殿場)に、立ち方の違いによる足首の活用方法を指導していただいた後、応用として古典型「鶴翼初段」を学びました。午後からは昇段審査会となりましたが、本年最後の審査会とあって各支部にて厳しい修行を積んだ受験生達は、真剣な表情で臨んでいました。審査の結果、新たに黒帯となった合格者は下記の通りです。

【少年初段】	児玉 心(精誠館)	井上 圭汰(精誠館)	山梨 彰瑛(西焼津)	池田 明星(西焼津)
宮脇 優羽(川根)	高田 真玖(律誠館)	山本 陸空(清水)	中條 滉大(焼津)	渡辺 光輝(焼津)
河田 大輝(清水)	望月 啓光(清水)	山本 翔稀(清水)	清水 信志(将陽館)	大橋 秀也(川根)
山梨 佑真(西焼津)	竹島 健弥(焼津)	天野 勇弥(青島)	鈴木 陽大(青島)	岡村紗也加(島田)
【一般初段】	高橋 光男(律誠館)	神保伊津子(青島)	仲田 一豊(健康空)	小野 史博(安倍川)
【一般式段】	置塩 大地(島田)	村松 久乃(精誠館)	合格おめでとうございます！	

静岡市空手道協会平成22年納会



平成22年も余すところ約2週間となった12月19日(日)に静岡市葵区の松空館道場(松永賢館長)にて静岡市空手道協会の来賓様や関係者約40名が集まり平成22年納会が開かれました。会の冒頭、松永賢・水上勇両先生より平成22年を振り返っての総評と、来たる新年に向けての抱負の発表があり、その後宴となりましたが、出席した皆さんは平成22年を惜しむかのように各テーブルでは話に花が咲いておりました。皆様にとって来たる新年が素晴らしい年になりますことを、心より祈念しております。(レポート：広報部 秋山高士)

皆さんは平成22年を惜しむかのように各テーブルでは話に花が咲いておりました。皆様にとって来たる新年が素晴らしい年になりますことを、心より祈念しております。(レポート：広報部 秋山高士)